

◆めざす授業像、子どもの姿を明確に。

- ⇒ 豊かな心を育てる算数教育。
- ⇒ 算数的活動を通じた思考力、表現力の育みを。…どんな姿を。どんな手だてで。
- ⇒ 上川・旭川地区研究との連携。

◆広く、参会者を。

- ⇒ 350名を目標に。
- ⇒ 旭川の地の利を生かして。
- ⇒ 若い教師、先生をめざす学生にも。

◆運営だけでなく、授業を学べる場に。

◆各地区の北数教活動の充実を

- ⇒ 各地区の状況、困難点、成果と課題を本部がとらえて進む。

【組織・情報部の新設】

- ⇒ 講習会、講演会、出前授業、模擬授業などの取り組み。

【本部研究部・支部研究部】

◆会員数の拡大もめざして。

- ⇒ 学級をもっている会員の割合を高く。
- ⇒ HP、会報誌によるPR活動。

第66回上川・旭川大会

組織の充実

日数教北海道大会構想

北海道の算数教育の充実

◆平成27年度の開催まで、あと4年。

- ⇒ 準備委員会、プロジェクトを中核に。
- ⇒ 横浜大会視察。具体的素案を。
【特設授業公開の可能性を】

◆日数教大会での研究発表に向けて。

- ⇒ 論文形式の研究発表の学習を。
- ⇒ 日常実践をもとにした研究発表の蓄積を。(全道各地からの発表者を)

◆北数教の問題解決型学習を。

- ⇒ 全国に発信できる北海道の算数学習、算数の授業、子どもの育みをめざして。
【北海道プラン】

◆日々の授業での積み重ねを。

- ⇒ 公開された1時間の授業の良し悪しを問うではなく、日々の授業で積み上げていくことを大切に。

◆各領域の指導も重視。

- ⇒ 近年、指導法重視が感じられる。領域の内容に関する研究も。

◆北海道の算数の学力向上を

- ⇒ 全国学テの結果から見えてくること…

◆ホームページを通じた支援。

- ⇒ 豊富な実践事例の掲載。